

NGNの今後の展開について

平成18年12月19日

情報通信審議会 ITU-T部会
次世代ネットワーク委員会主査
浅谷 耕一

ITU-Tにおける最近の動向

(1) NGNリリース1勧告案の完成

平成18年7月のNGN-GSI第5回SG11、13会合においてNGNのスコープ、要求条件、QoSの一般則などを中心とするNGNリリース1の基本的勧告案を確定。

また、10月に開催されたSG13WPにおいて、継続検討となっていた6件のNGN勧告が合意された。

(2) NGN GSIにおける勧告化状況

SG13において合意された12件の草案の他に、SG11、SG19においてそれぞれ1件が合意され、合わせて14件のNGNに関する草案が順次電子投票(AAP)等で勧告化。このうちNGN要求条件とセキュリティ要求条件の2勧告においては従来手続き(TAP)が適用されることとなった。

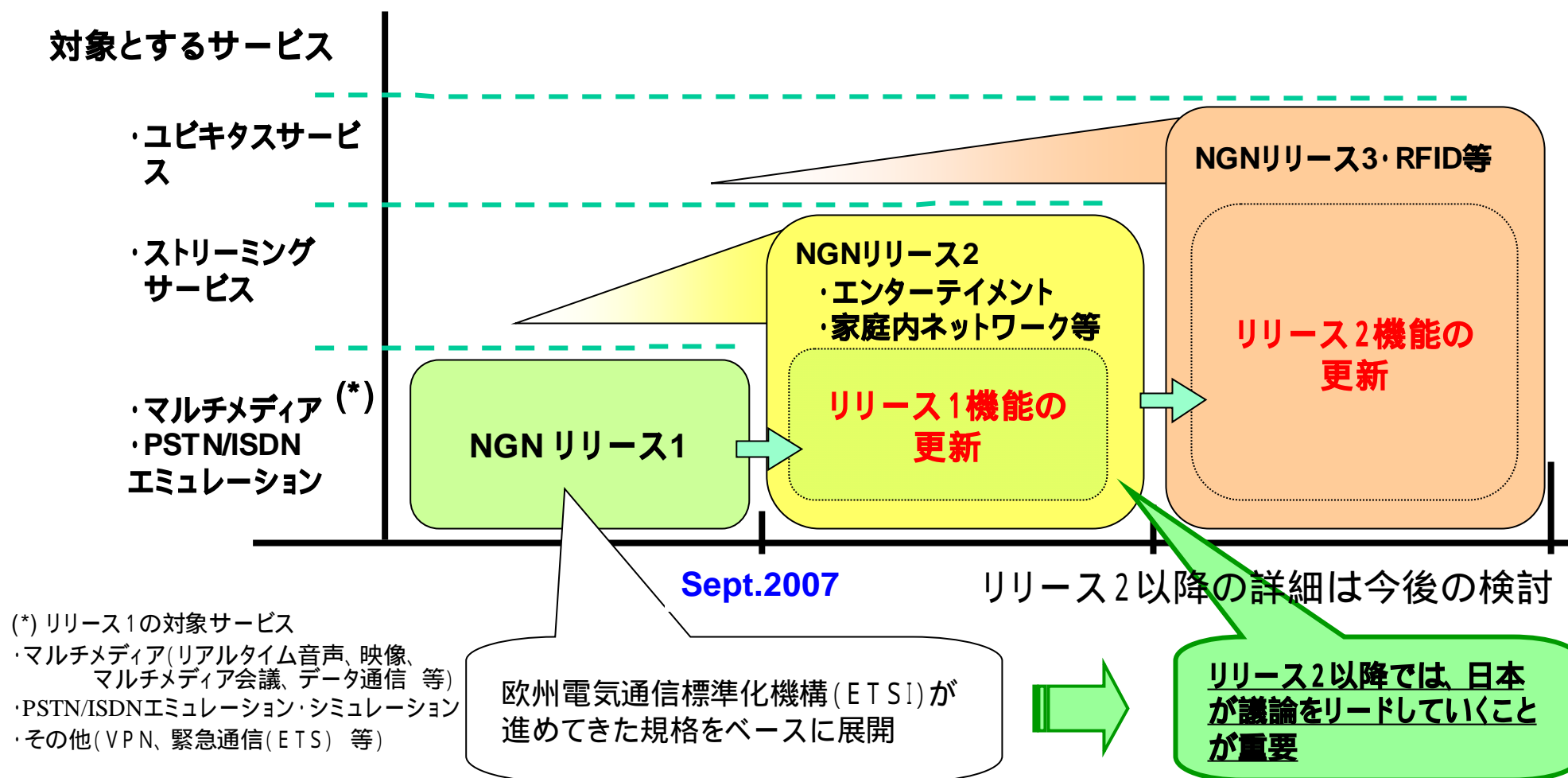
(3) 関連勧告の整備

基本的な勧告案の確定を合わせ日本から提案した補足提案も合意され、具体的なプロトコルを定める関連技術勧告を2007年9月までに完成させることとなった。

当面の予定	2007年	1月	NGN-GSI会合
		4月	NGN関連SG会合
		9月	NGN-GSI会合

NGN標準化のステップ

- NGNでは特定のサービスと能力 (Services and Capabilities) を段階的に実現 (リリースコンセプト)
- サービスの記述、アーキテクチャとプロトコル要求条件、プロトコルの3ステージで検討



NGNリリース2への対応

■ NGN-GSIにおけるリリース2の検討状況

Q.4(NGNのためのQoSの要求条件とフレームワーク)においてリリース2スコープ、検討課題およびその優先度が議論されるなど、リリース2の策定に向けた検討が開始されているものの、関心はまだ高まっていない状況。

■ リリース2以降に向けた対応

NGNについては、既存網からIP網への移行、多様なアプリケーションの実現といった大規模な市場の形成が期待されており、我が国の国際競争力を維持・発展させるためには国際標準の獲得が重要になる。

現在、NGNの標準化提案については、国際競争力の向上に向け、ITU-T部会における次世代ネットワーク委員会のワーキンググループとTTCにおけるアップストリーム・サブワーキンググループを合同で開催するなど、その取組みを強化しているところ。

また、NGNの普及促進や今後の高度化に向けて産学官の連携を強化する場として「次世代IPネットワーク推進フォーラム」が設置されており、幅広い分野のメンバーが参加している本フォーラムの成果も必要に応じて取り入れながら、標準化提案の一層の展開を図っていく予定。

NGNにおける研究開発・標準化項目

次世代IPネットワーク推進フォーラム
研究開発・標準化部会
戦略検討ワーキング・グループ

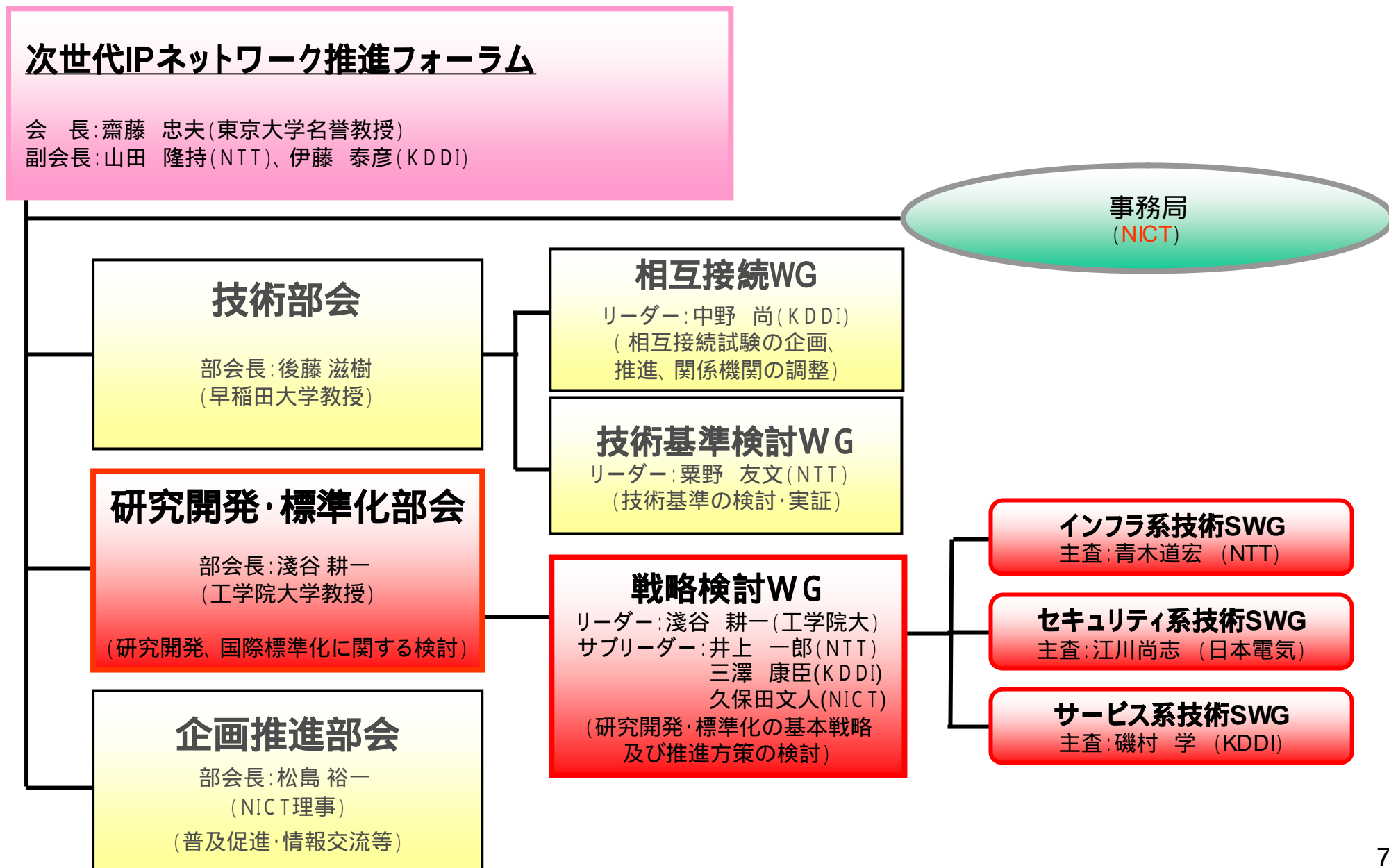
次世代IPネットワーク推進フォーラムにおける検討状況

- 産・学・官の連携のもと、次世代IPネットワークの相互接続試験・実証実験に総合的に取り組むとともに、研究開発・標準化等を戦略的に推進することを目的として、2005年12月に、情報通信開発機構(NICT)を事務局として、次世代IPネットワーク推進フォーラムが設置された。
- 同フォーラムの「研究開発・標準化部会」では、「戦略検討ワーキング・グループ」の中に系統別にサブワーキンググループを設置し、重要技術項目の抽出や優先順位付けについて検討中。

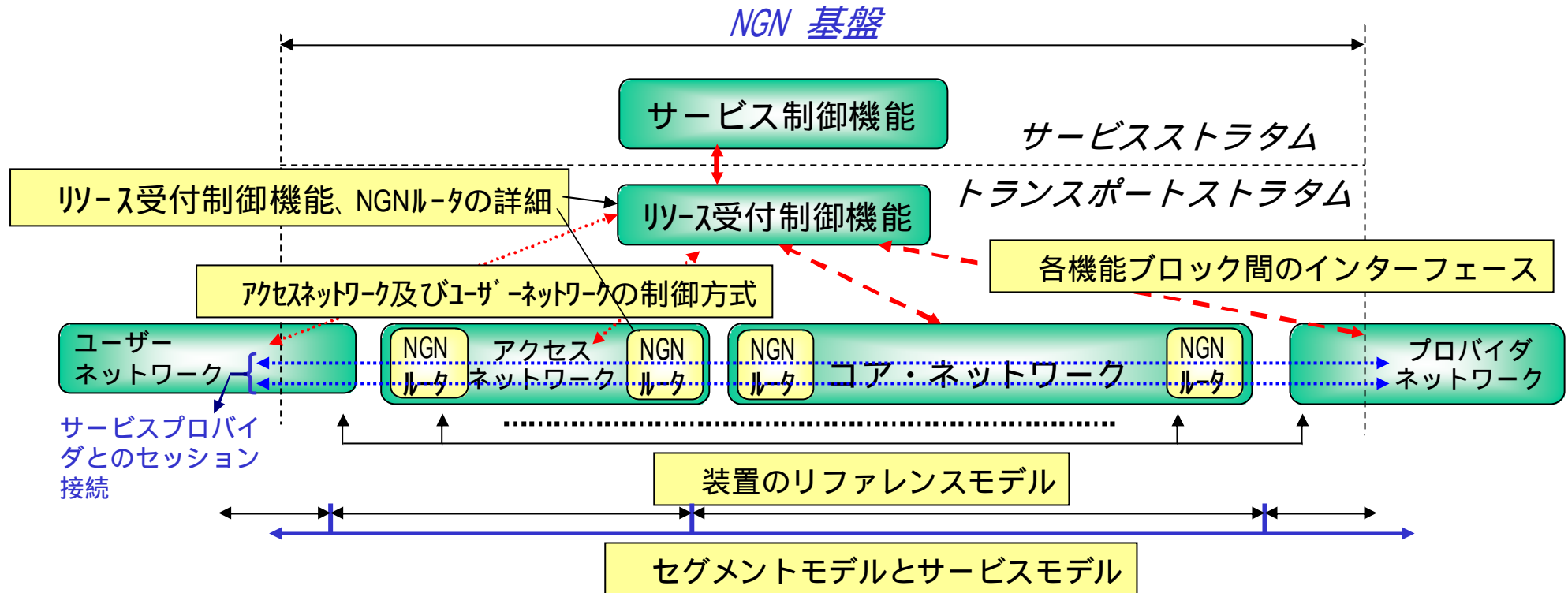
- インフラ系技術サブワーキンググループ
伝達層の高度化、品質管理(QoS)等
- セキュリティ系技術サブワーキンググループ
安全性・信頼性、緊急通信等
- サービス系技術サブワーキンググループ
固定・移動融合、端末・アプリケーション等

[参考]

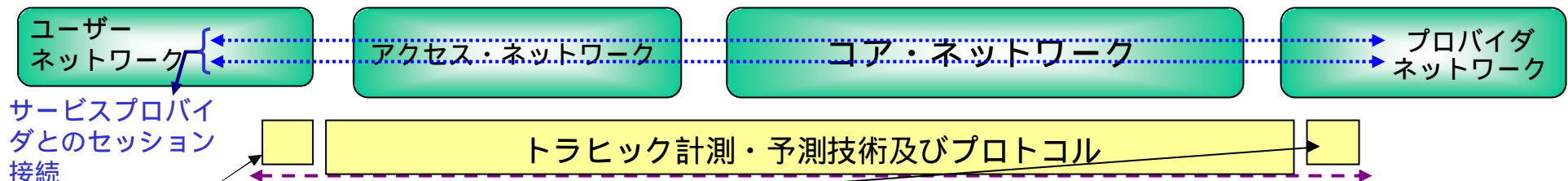
次世代IPネットワーク推進フォーラム組織図



インフラ系技術の研究開発・標準化



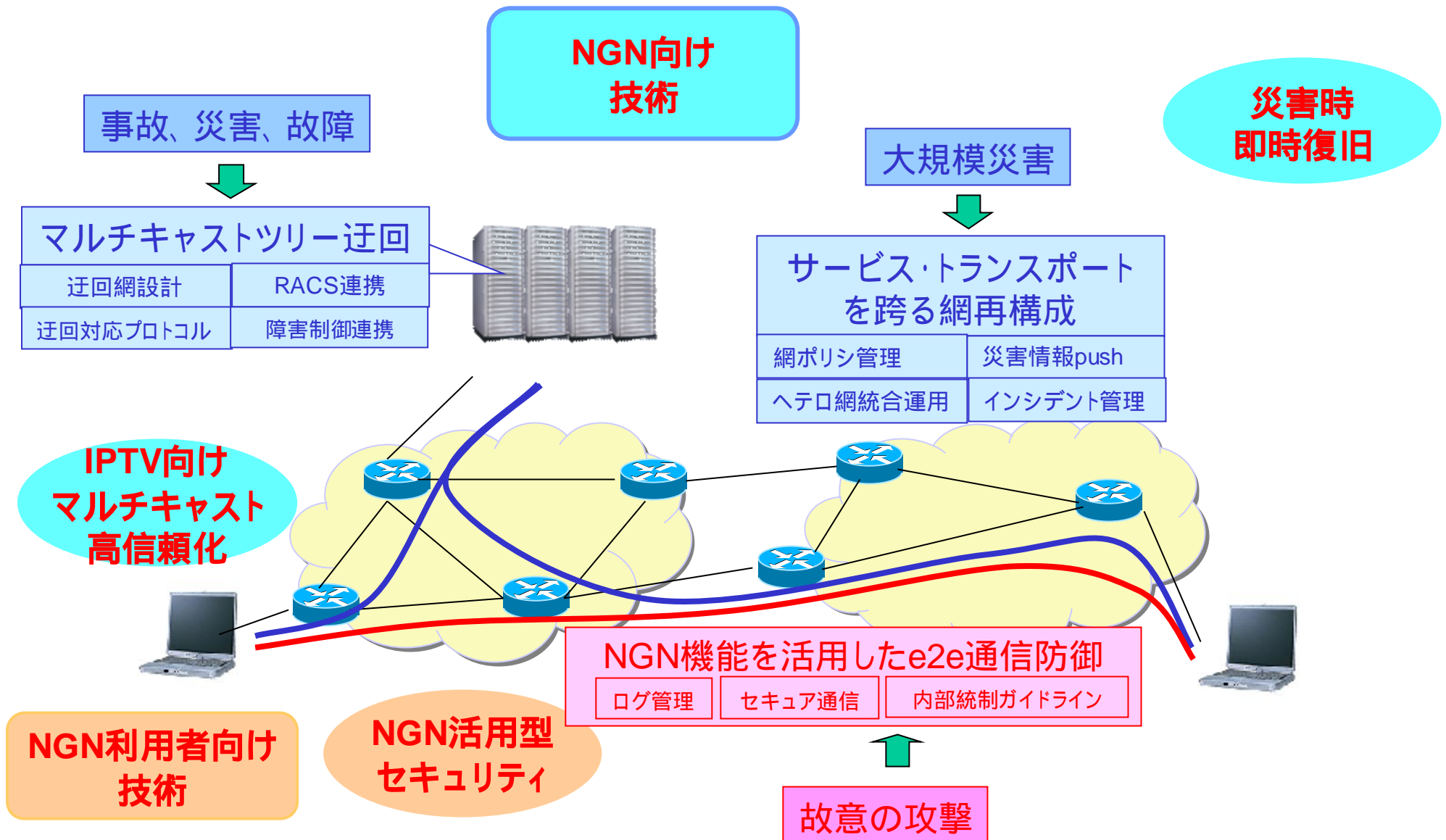
(1) NGNアーキテクチャを用いたエンドエンドQoS制御方式



ユーザ主導のリソース受付制御機能相当の規定

(2) ユーザ主導のエンドエンドQoS制御方式

セキュリティ系技術の研究開発・標準化



サービス系技術の研究開発・標準化

